

星つむぎの村 木の森だより No.16



星つむぎの村は、「星を介して人と人をつなぎ、ともに幸せを作ろう」をミッションに
プラネタリウム、星空観望会、星や宇宙に関するワークショップなどを展開している団体です。



★ぼく・わたしの絵本

「まあちゃんのながいかみ」たかどの ほうこ:作 福音館書店



もしも髪の毛がものすごーーーつく長かったらこんなことやってみたい！大変そうなお手入れだって心配ご無用なんですって。まあちゃんのすてきな想像力にみんなもきっとうっとりしますよ。

「星のこども カール・セーガン博士と宇宙のふしぎ」

ステファニー・ロス・シソン:作 山崎直子:訳 小峰書店



宇宙探検の礎を築いたカール・セーガン博士の伝記です。子ども時代の夢や宇宙へのあつい想いが易しい言葉で表現されています。遙か遠くを旅するボイジャー探査機が一層愛おしくなる一冊です。

★ティーンエイジの君へ

「いつでも君のそばにいる 小さなちいさな優しい世界」



これが一枚の葉っぱからできているの？最初にそんな驚きがあるはず。葉っぱの上の優しく温かい物語の世界に惹き込まれ、リトルワールドから抜け出せなくなっちゃいます！ホクホク気分間違いなし。

「NASAより宇宙に近い町工場」

植松努:著 ディスカヴァー・トゥエンティワン
成功するまで夢を追いかけよう語るの
は、北海道の小さな工場でロケット開発
に取り組む植松努さん。体験談を読み進
めると、モノづくりの楽しさや未来を自
分の力で切り開く熱い魂が伝わります。

★トピックス...

今年は、少し早すぎる桜が咲きましたね。けれども星は、何よりも正確に季節と時間を教えてくれます。毎年、同じ日時に、同じ星並びが戻ってきます。逆にいえば、人々は星を見て、季節や時間を取り、カレンダーをつくってきたというわけです。めまぐるしく変化していく地球環境の中、変わらないものが私たちを見守っている、ということに、ちょっとほっとするような気がします。

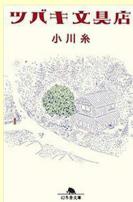
次号の発行は6月1日です。

星つむぎの村の活動はホームページやYouTubeでもご覧いただけます。

・星つむぎの村HP <https://hoshitsumugi.org/>

★パパ・ママの本

「ツバキ文具店」 小川糸:著 幻冬舎



ポッポちゃんの本業は代筆業。様々な事情を抱えた人のため、紙、インク、文字切手を吟味して唯一無二の手紙に仕上げます。鎌倉のご近所さんと豊かに繋がっていく夏秋冬。そして春には宝物を見つけます。

「覚和歌子詩集」 覚和歌子:著 ハルキ文庫



最初は黙読。2回目は声に出して朗読。3回目はさらに丁寧に朗読。そして最後は目と心と空感で覚さんの世界を味わってほしいです。言葉が広がりを持ち、あなたを宇宙まで連れて行ってくれます。

★みんな・みんな生きている！

「種から種へ 命つながるお野菜の一生」

鈴木純:著 雷鳥社



普段スーパーで目に見る野菜は、食べ頃の時期のもの。ではその前後はどうなっているのかな？ そんな疑問から、身近な野菜たちの一生を写真で優しく紹介しています。ごぼうの花って見たことがあります？

「きょうがはじまる」 ジュリー・モースタッド:作 石津ちひろ:訳 BL出版



さて、今日はどんな服を着ようかな？どこへ行く？ねえ何をしようか？ページいっぱいに広がる選択肢、大人も子供もワクワク笑顔がはじけます。新しい今日は、自分で自由に選べる、毎日が特別な日。



YouTube
QRコード

星つむぎの村の様々な活動

フライングプラネタリウムや

コンサートなど、

YouTube配信も

ご覧ください。



編集・発行



一般社団法人 星つむぎの村

〒409-1502

山梨県北杜市大泉町谷戸6587-2

☎ 0551-88-9027

✉ book@hoshitsumugi.org

HP <https://hoshitsumugi.org/>